

一括請求 Assist[®] Ver.3

操作マニュアル

連携編(勘定奉行)

第 3.4 版

目次

はじめに.....	2
1 連携の概要.....	3
1.1 連携の概要.....	3
1.2 連携条件について.....	4
1.3 連携の流れ.....	5
1.4 使用フォーマットについて.....	6
2 連携事前設定.....	7
2.1 「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の事前設定.....	7
2.1.1 勘定科目を確認する.....	7
2.1.2 補助科目を確認する.....	10
2.1.3 取引先を確認する.....	22
2.1.4 部門を確認する.....	26
2.1.5 摘要を確認する.....	28
2.2 本ソフトの事前設定.....	30
2.2.1 通知確認設定情報を設定する.....	30
2.2.2 取引先を設定する.....	31
2.2.3 出力 CSV 設定を設定する.....	34
2.2.4 固定値を設定する.....	35
3 連携手順.....	44
3.1 連携手順.....	44
3.1.1 通知ファイルを読み込む.....	44
3.1.2 通知情報を確認する.....	48
3.1.3 仕訳伝票を作成する.....	50

はじめに

本書では、本ソフトと株式会社オービックビジネスコンサルタントの会計ソフト「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

本書では「勘定奉行」の画面例で連携手順を説明しますが、「勘定奉行[建設業編]」も同様の手順で連携が可能になります。

本書で使用する画面例については「勘定奉行 i8」のものとなります。会計ソフトのバージョンにより表示内容が異なる場合がありますが、操作方法に差異はありません。

本書に記載されていない「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」のその他機能の詳細については、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。

1 連携の概要

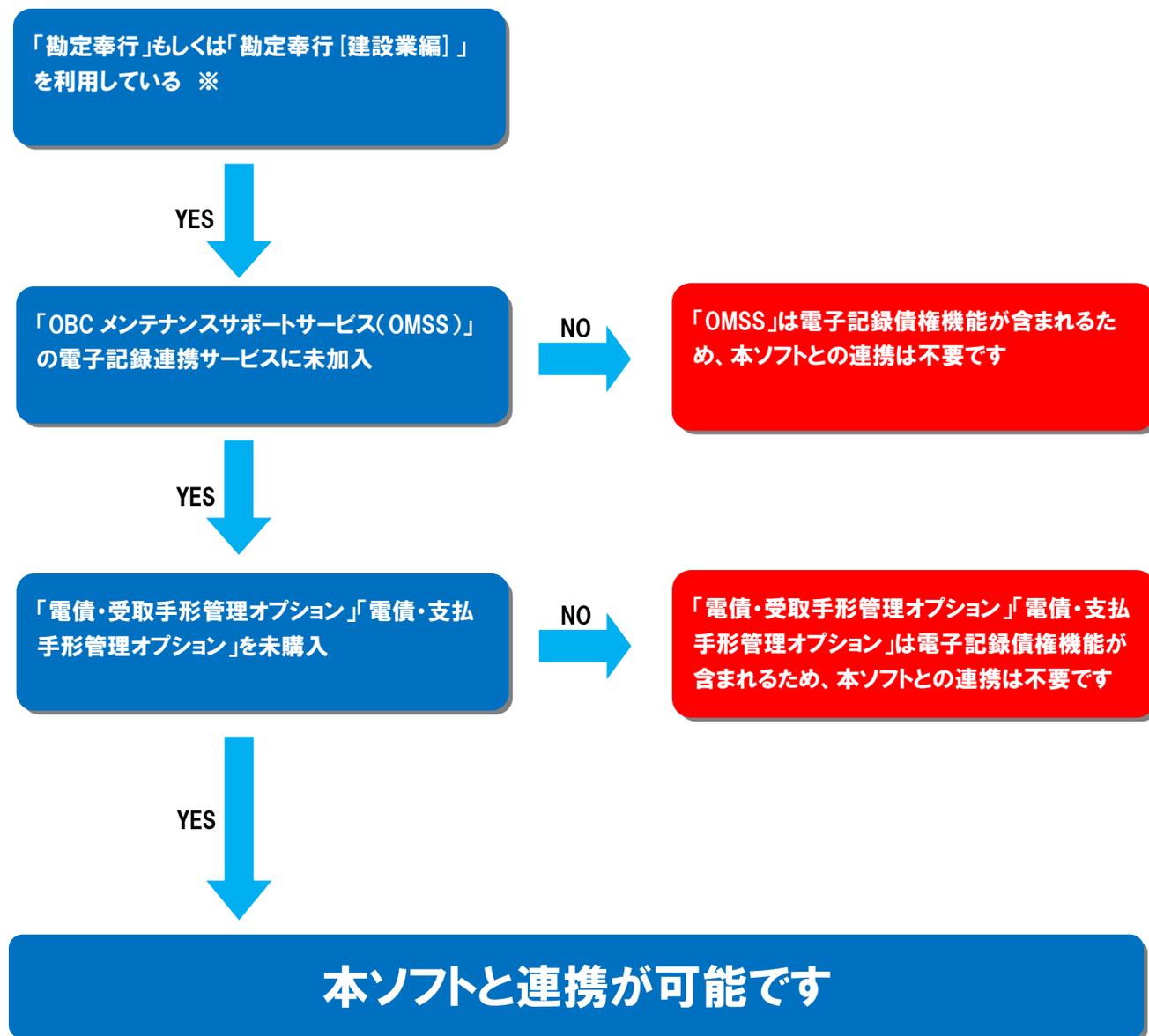
1.1 連携の概要

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報 CSV ファイル（受入債権一覧）を出力することができます。出力した債権情報 CSV ファイルを「勘定奉行」もしくは「勘定奉行[建設業編]」に読み込むことにより、簡単に仕訳伝票を作成することができます。



1.2 連携条件について

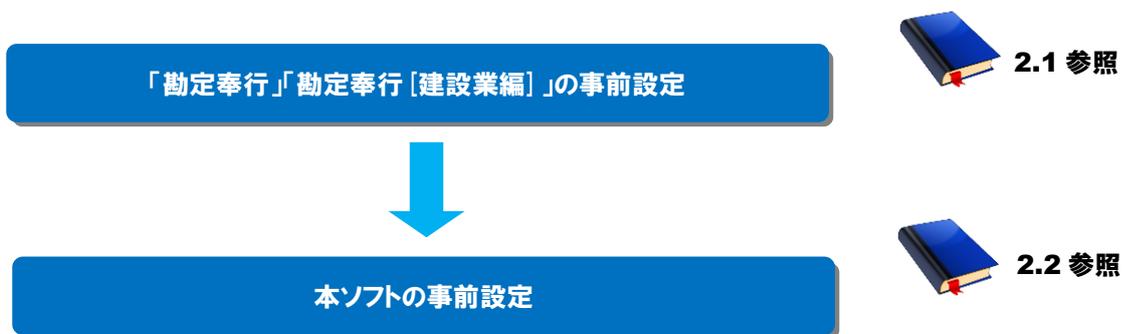
本ソフトと連携が可能となる条件は下記の通りとなります。



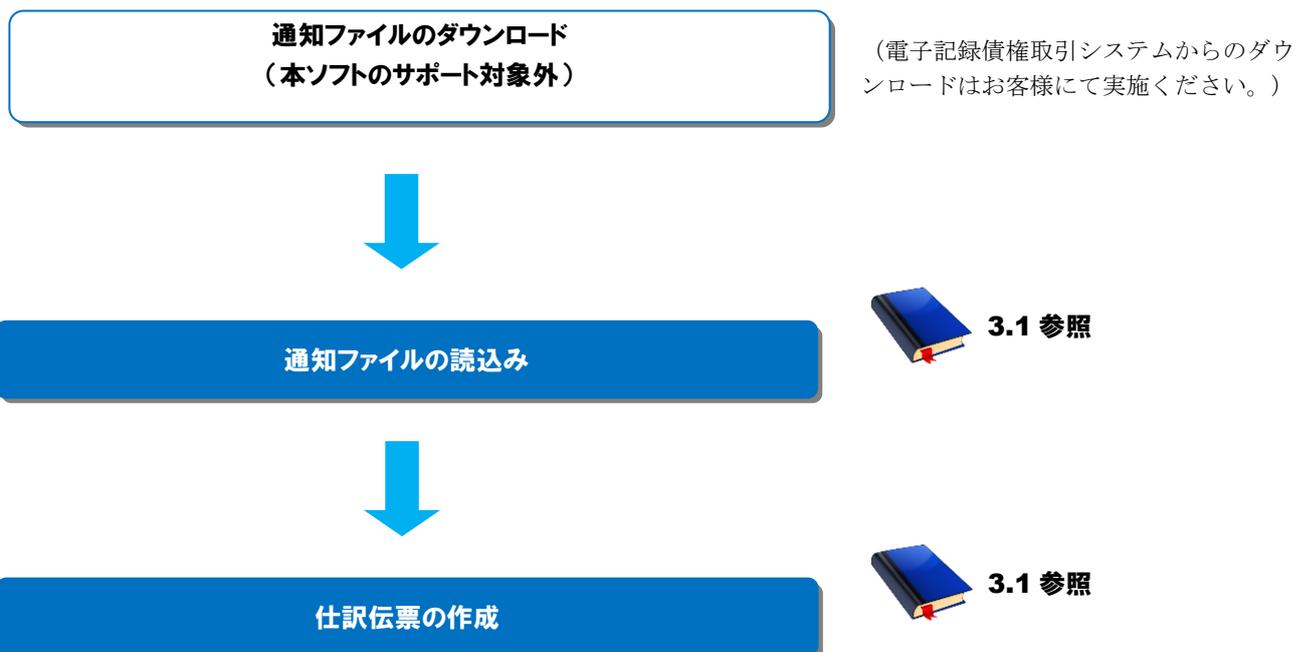
※連携可能な勘定奉行のバージョンについては、株式会社NTTデータフロンティアのホームページをご参照ください。

1.3 連携の流れ

事前設定



連携手順



1.4 使用フォーマットについて

「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」との連携で使用するフォーマットについて説明します。

「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の利用状況に応じて、下記使用フォーマットから適切なものを選択してください。以降の設定については、選択した使用フォーマットに沿って実施してください。

条件1 ※1	条件2 ※2	選択する使用フォーマット
「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の <u>取引先登録画面</u> で取引先を管理している場合	「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用している</u> 場合	連携用_勘定奉行（OBC）_SN
	「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用していない</u> 場合	連携用_勘定奉行（OBC）_SY
「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の <u>補助科目登録画面</u> で取引先を管理している場合	「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用している</u> 場合	連携用_勘定奉行（OBC）_BN
	「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の仕訳処理画面の「摘要」を <u>使用していない</u> 場合	連携用_勘定奉行（OBC）_BY

※1：詳細は「**2.1.2 補助科目を確認する**」、「**2.1.3 取引先を確認する**」をご参照ください。

※2：詳細は「**2.1.5 摘要を確認する**」をご参照ください。

2 連携事前設定

2.1 「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の事前設定

連携を行うための「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1
勘定科目を確認する

2.1.2
補助科目を確認する

2.1.3
取引先を確認する

2.1.4
部門を確認する

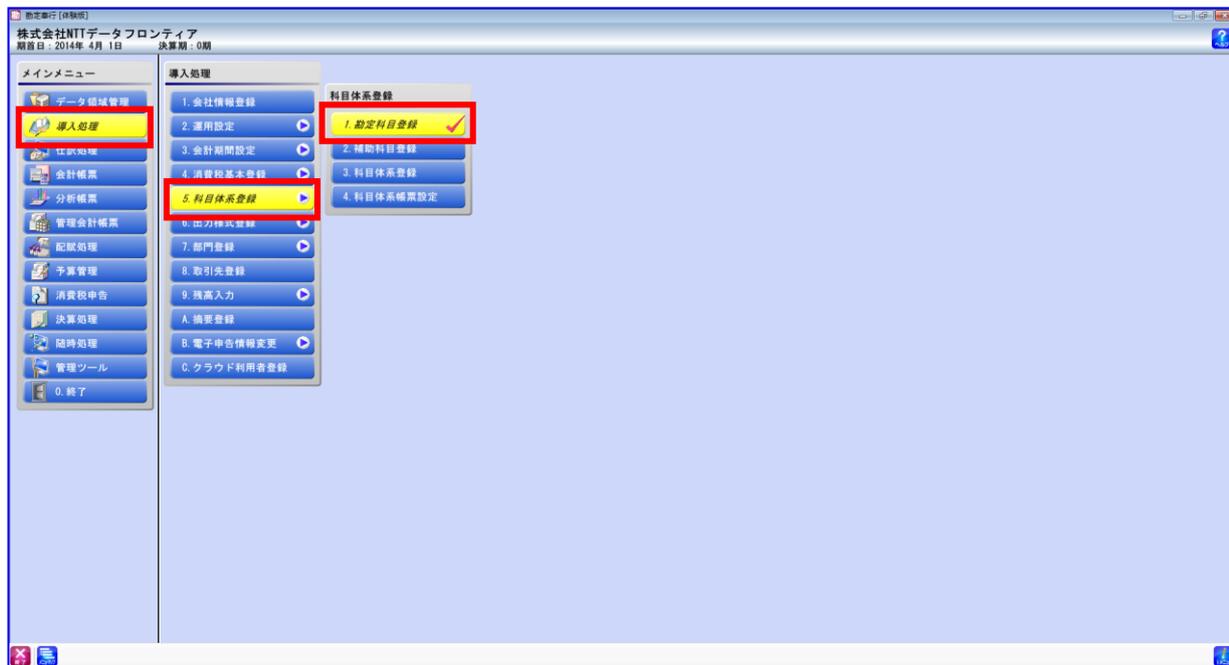
2.1.5
摘要を確認する

操作方法

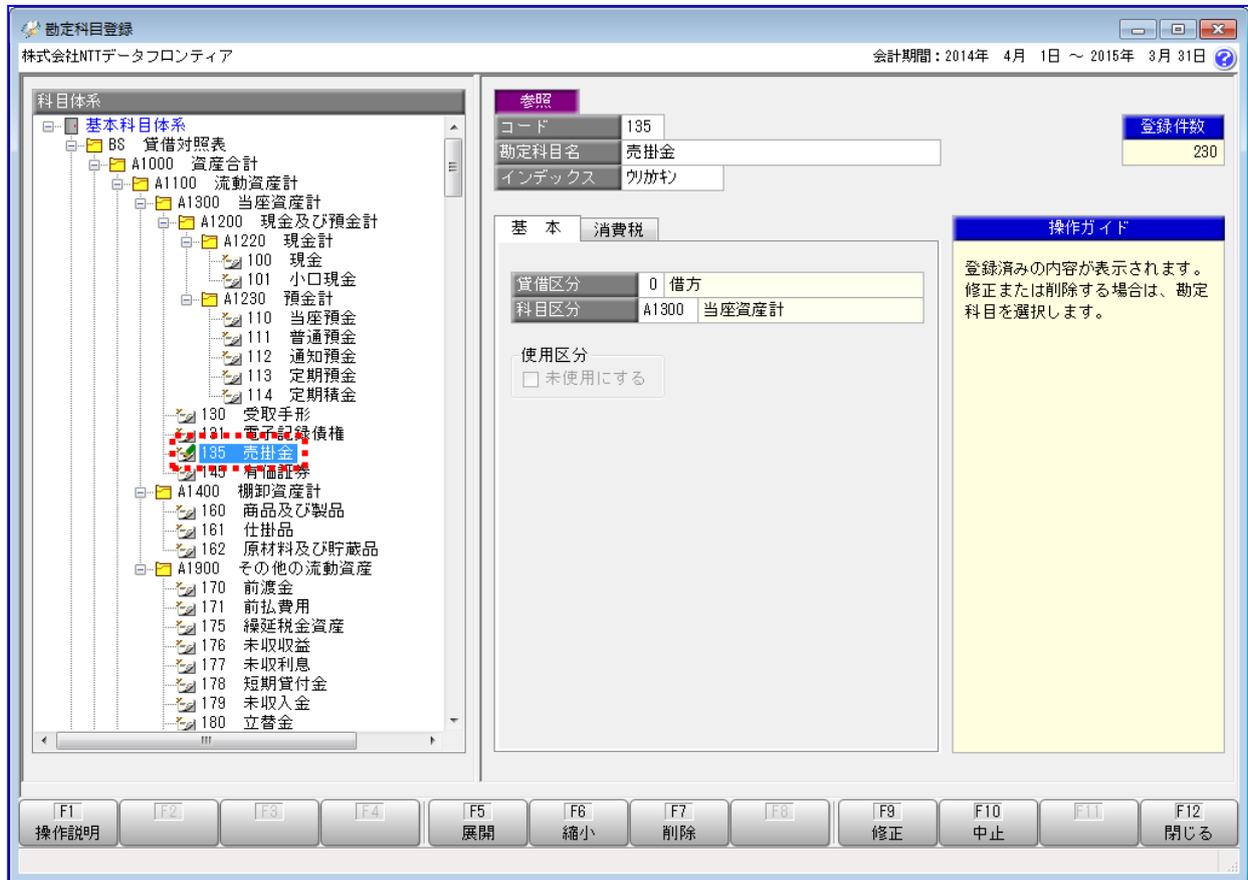
2.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

- 「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」を開き、[導入処理]>[科目体系登録]>[勘定科目登録]を押下します。



- 勘定科目「売掛金」が存在することを確認します。
勘定科目「売掛金」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)



- 勘定科目「電子記録債権」が存在することを確認します。
勘定科目「電子記録債権」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)



勘定科目「電子記録債権」の使用区分「未使用にする」にチェックが入っている場合は、チェックボックスを外して使用可能にしてください。

2.1.2 補助科目を確認する

取引先を補助科目登録画面で管理している場合、連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_BN、連携用_勘定奉行（OBC）_BY】

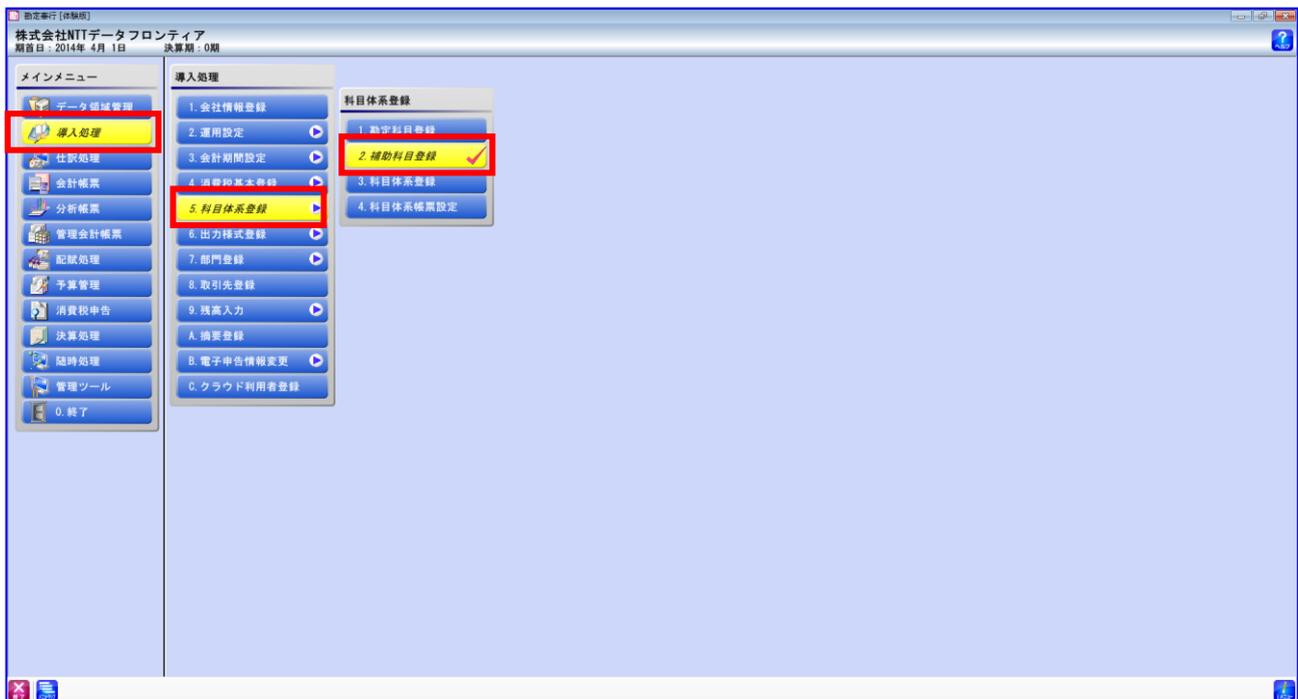


取引先を取引先登録画面で管理している場合、本項の作業は不要です。



勘定科目「売掛金」の補助科目を確認します。

[導入処理]>[科目体系登録]>[補助科目登録]を押下します。



「勘定科目」の[検索]を押下します。



補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア

会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目

登録件数: 0

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		

事業区分

コード	補助科目名	インデックス

操作ガイド

勘定科目

補助科目を設定する勘定科目のコードを入力します。

【注意】

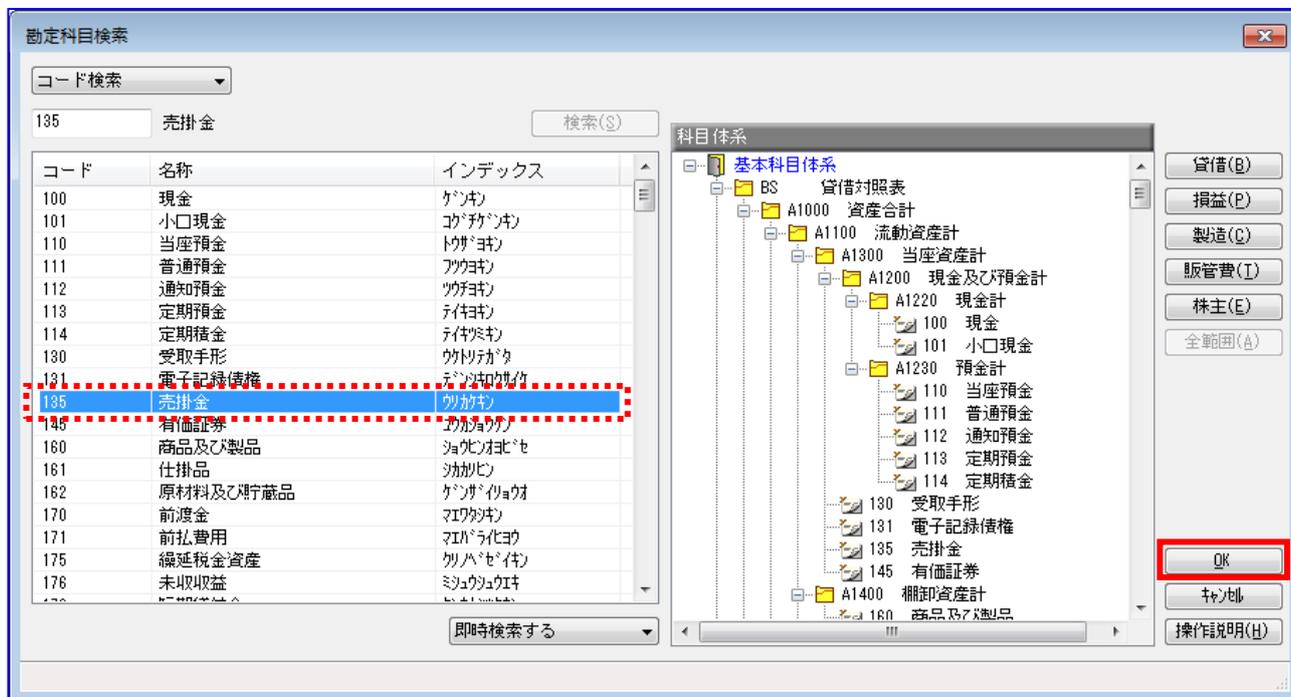
以下の勘定科目には補助科目を設定できません。

- 仮払消費税
- 仮受消費税
- 繰越利益剰余金

検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 複写 F7 削除 F8 F9 F10 F11 F12 閉じる

✚ 「2.1.1 勘定科目を確認する」で確認または登録した「売掛金」を選択し、[OK]を押下します。



- 取引先の情報が、補助科目に設定されていることを確認します。
補助科目が未設定である場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア 会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 135 売掛金 登録件数 3

コード []
補助科目名 []
インデックス []

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		

事業区分 []

コード	補助科目名	インデックス
001	取引先 A 株式会社	トビ特助A
002	取引先 B 株式会社	トビ特助B
000	その他	

操作ガイド

コード

【参考】
コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数 1～4 桁
- ・検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 F7 削除 F8 F9 F10 中止 F11 F12 閉じる



電子記録債権を受け入れる対象の取引先をすべて登録しておく必要があります。
取引先が増減した場合は、都度修正ください。
また、電子記録債権以外を利用する取引先が登録されていても問題ありません。



登録した「コード」「補助科目名」は、「2.2.2 取引先を設定する」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

- 勘定科目「電子記録債権」の補助科目を確認します。
「勘定科目」の[検索]を押下します。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア

会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 

登録件数

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分	<input type="text"/>	<input type="text"/>
貸方税区分	<input type="text"/>	<input type="text"/>
消費税自動計算	<input type="text"/>	<input type="text"/>
端数処理	<input type="text"/>	<input type="text"/>
事業区分	<input type="text"/>	<input type="text"/>

コード	補助科目名	インデックス

操作ガイド

勘定科目

補助科目を設定する勘定科目のコードを入力します。

【注意】

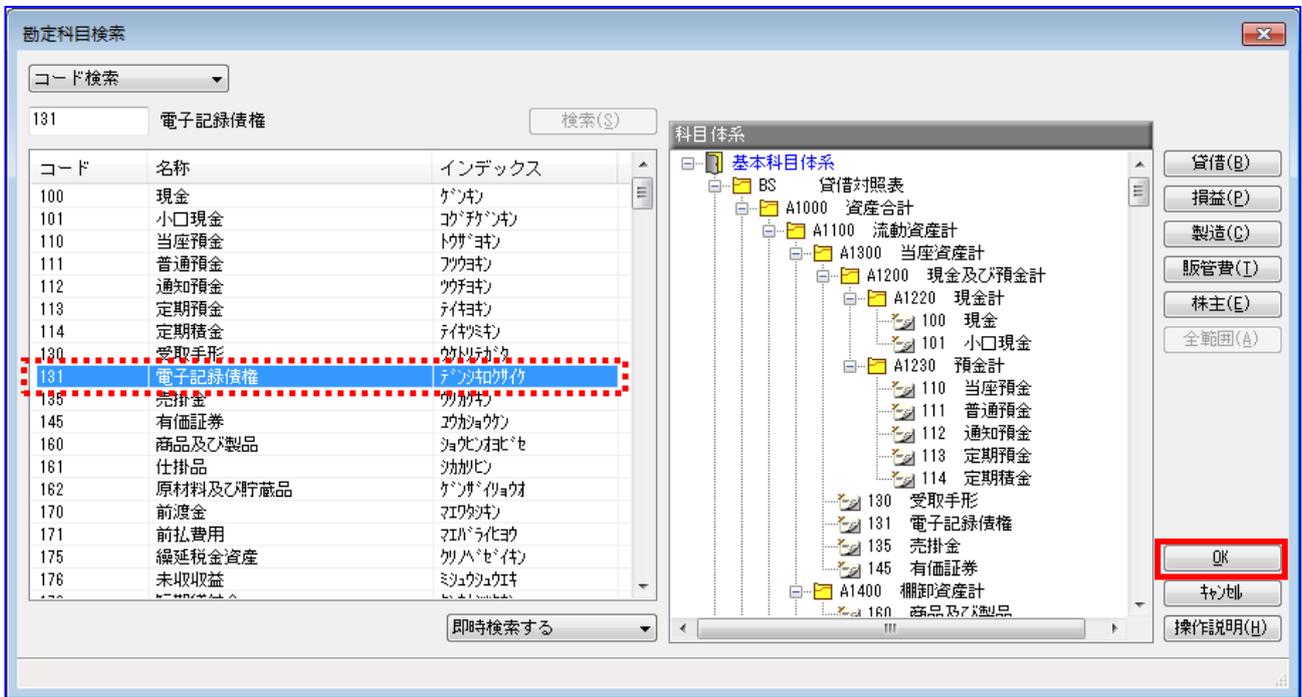
以下の勘定科目には補助科目を設定できません。

- 仮払消費税
- 仮受消費税
- 繰越利益剰余金

検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 複写 F7 削除 F8 F9 F10 F11 F12 閉じる

「2.1.1 勘定科目を確認する」で確認または登録した「電子記録債権」を選択し、[OK]を押下します。



- ✚ 取引先に対応する補助科目が存在することを確認します。

勘定科目「電子記録債権」は、勘定科目「売掛金」に登録した取引先をすべて同様に設定する必要があるため、存在しない場合は、複写機能により、勘定科目「売掛金」の補助科目をコピーしてください。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア 会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 131 電子記録債権

登録件数 3

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		
事業区分		

操作ガイド

コード

【参考】

コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数 1～4桁
- ・検索⇒[Space]キー

コード	補助科目名	インデックス
001	取引先 A 株式会社	ト比特キカフ
002	取引先 B 株式会社	ト比特キカフ
000	その他	

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 F7 削除 F8 F9 F10 中止 F11 F12 閉じる



補助科目は複写機能を利用せず、本画面より1件ずつ登録することも可能です。
補助科目の作成方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。

✚ [複写]を押下します。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア 会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

登録件数 0

勘定科目

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分

貸方税区分

消費税自動計算

端数処理

事業区分

操作ガイド

勘定科目

補助科目を設定する勘定科目のコードを入力します。

【注意】

以下の勘定科目には補助科目を設定できません。

- 仮払消費税
- 仮受消費税
- 繰越利益剰余金

検索⇒[Space]キー

コード	補助科目名	インデックス

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 **F6 複写** F7 削除 F8 F9 F10 F11 F12 閉じる

✚ [次へ]を押下します。



✚ 「勘定科目コード」に「売掛金」に対応するコードを入力します。
「選択範囲」に表示されている取引先に対応する補助科目を選択し、[選択]を押下します。
すべての補助科目を選択したい場合は[全選択]を押下します。



✚ 選択済み項目を確認し、[次へ]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

複写元の勘定科目を指定し、複写する補助科目を指定してください。

勘定科目コード 勘定科目名
135 売掛金

選択項目

補助科目コード	補助科目名

全選択(A) 選択(S) 全削除(L) 削除(D)

選択済み項目

補助科目コード	補助科目名
001	取引先 A 株式会社
002	取引先 B 株式会社

<戻る(B) 次へ(N) 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

✚ 「勘定科目コード」に「電子記録債権」に対応するコードを入力します。
選択科目に「電子記録債権」が表示されることを確認し、[次へ]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

複写先を選択します。

勘定科目コード

選択項目

勘定科目コード	勘定科目名
131	電子記録債権

削除(D)

<戻る(B) 次へ(N) 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

- ✚ 複写する補助科目、複写先の勘定科目を確認し、[次へ]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

補助科目の複写

ウィザードの開始

複写元の勘定科目

複写する補助科目の指定

複写先の勘定科目の指定

⇒ 設定内容の確認

完了

以下の補助科目を、以下の勘定科目に登録します。

補助科目コード	補助科目名	勘定科目コード	勘定科目名
001	取引先A株式会社	131	電子記録債権
002	取引先B株式会社		

コードが重複した場合は上書きする

<戻る(B) 次へ(N) 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

- ✚ [完了]を押下します。

補助科目の複写ウィザード

補助科目の複写

ウィザードの開始

複写元の勘定科目

複写する補助科目の指定

複写先の勘定科目の指定

設定内容の確認

⇒ 完了

複写処理が終了しました。

<戻る(B) 次へ(N) 完了(E) キャンセル 操作説明(H)

- 勘定科目「電子記録債権」の補助科目が正常に複写されていることを確認します。

補助科目登録

株式会社NTTデータフロンティア 会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

勘定科目 131 電子記録債権

登録件数 3

コード

補助科目名

インデックス

消費税

勘定科目と同じ設定にする

借方税区分		
貸方税区分		
消費税自動計算		
端数処理		

事業区分

コード	補助科目名	インデックス
001	取引先A株式会社	トビキキAカブ
002	取引先B株式会社	トビキキBカブ
000	その他	

操作ガイド

コード

【参考】

コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- ・英数 1 ~ 4 桁
- ・検索⇒ [Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 名称変更 F6 F7 削除 F8 F9 F10 中止 F11 F12 閉じる

2.1.3 取引先を確認する

取引先を取引先登録画面で管理している場合、連携で使用する取引先が登録されているか確認します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SN、連携用_勘定奉行（OBC）_SY】



取引先を補助科目登録画面で管理している場合、本項の作業は不要です。



取引先を確認します。

[導入処理]>[取引先登録]を押下します。



「勘定奉行」オプションを使用している場合、取引先登録はオプション側の取引先登録を確認してください。

確認方法は「**2.1.3 取引先を確認する**」と同一になりますが、取引先登録画面は[支払管理]>[導入処理]>[取引先登録]>[取引先登録]より表示します。

「勘定奉行[建設業編]」をご利用の場合、オプションの使用有無に関わらず、[導入処理]>[取引先登録]より確認してください。

「コード」の[検索]を押下します。

-
- 「即時検索しない」を選択し、[検索]を押下します。

取引先検索

検索条件

取引先名 1 が [] を含む

無効な取引先を含める

検索(S)

詳細設定(I)>>

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)

2.1.4 部門を確認する

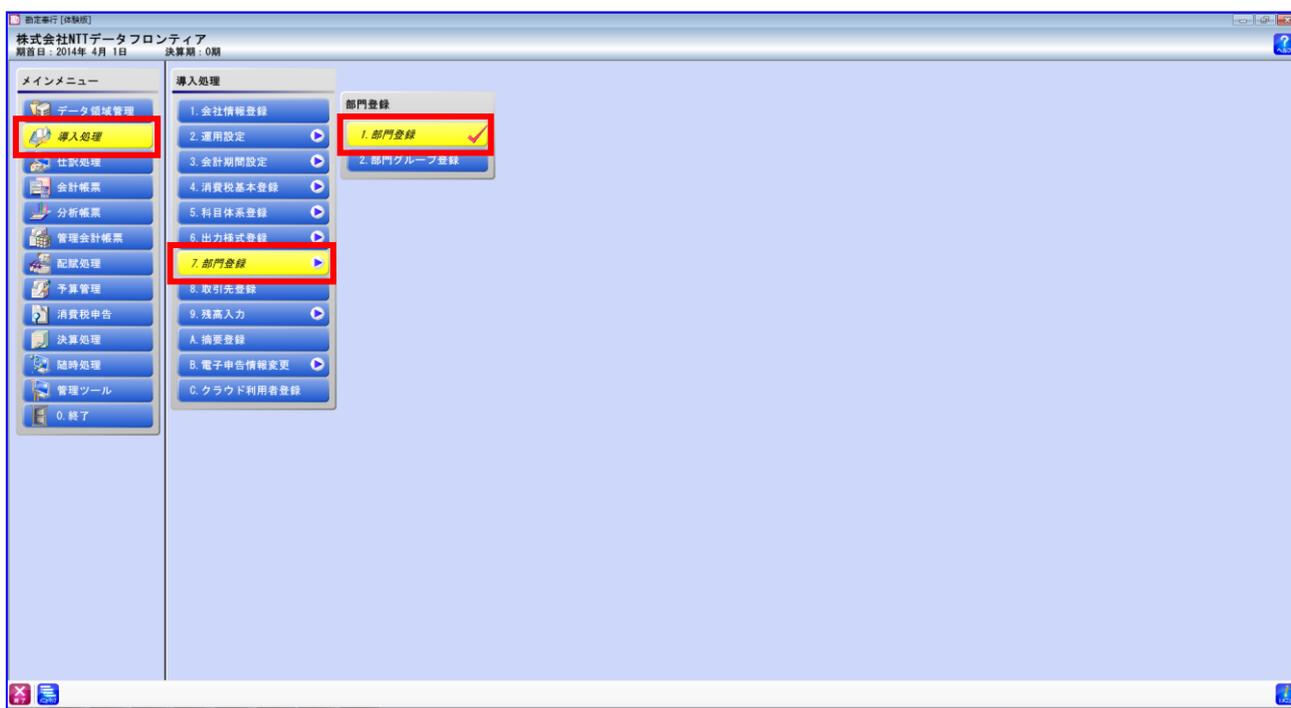
部門を部門登録画面で管理して利用している場合、登録内容を確認します。

【対象の使用フォーマット：全フォーマット】

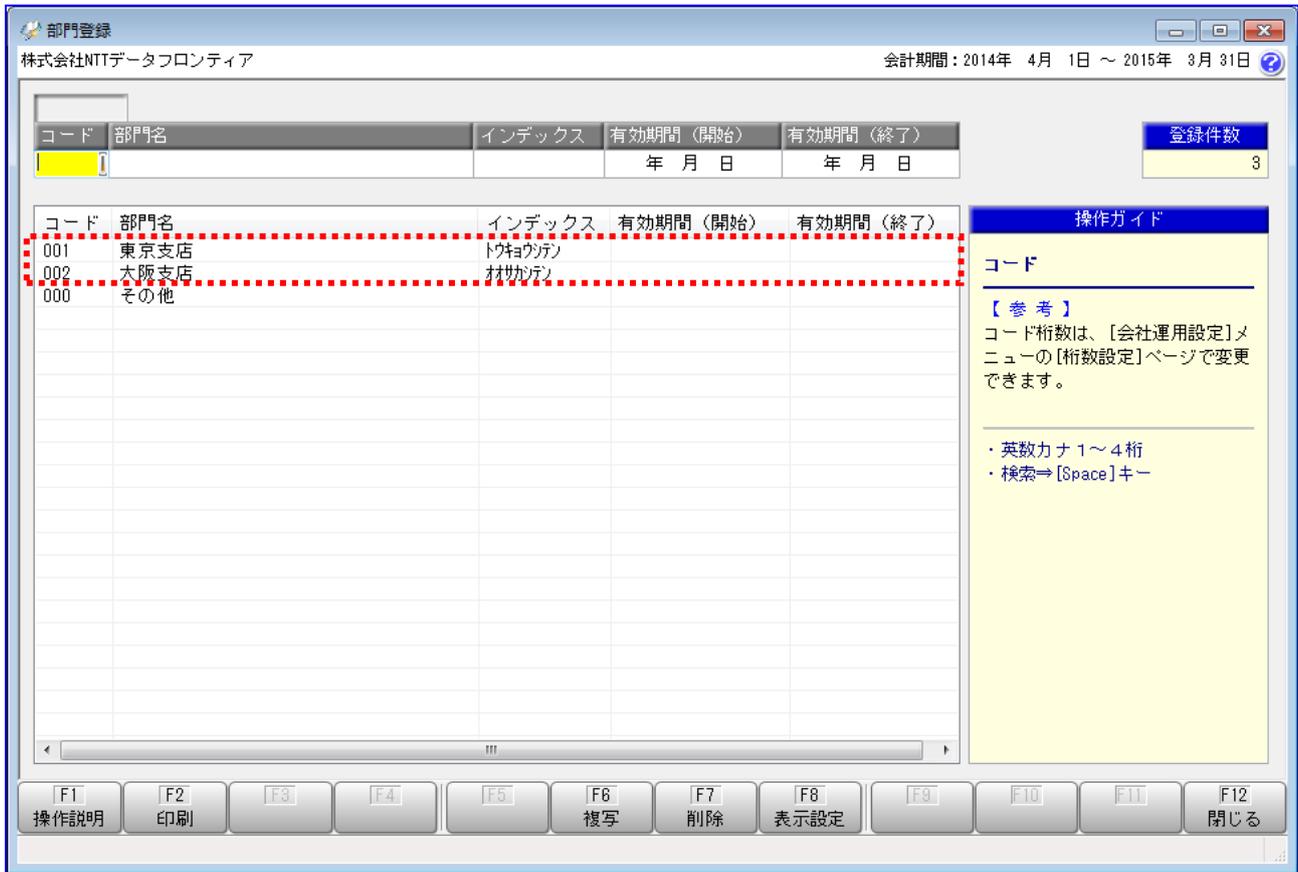


部門を使用していない場合、本項の作業は不要です。

📌 [導入処理] > [部門登録] > [部門登録]を押下します。



- 部門に対応するレコードが存在することを確認します。



コード	部門名	インデックス	有効期間(開始)	有効期間(終了)
001	東京支店	トヨタ/ケン		
002	大阪支店	材カチ		
000	その他			

登録件数: 3

操作ガイド

コード

【参考】
コード桁数は、[会社運用設定]メニューの[桁数設定]ページで変更できます。

- 英数カナ 1～4桁
- 検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 F6 複写 F7 削除 F8 表示設定 F9 F10 F11 F12 閉じる



登録した「コード」「部門名」は、「**2.2.4 固定値を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

2.1.5 摘要を確認する

仕訳処理画面「摘要」の使用用途を確認します。

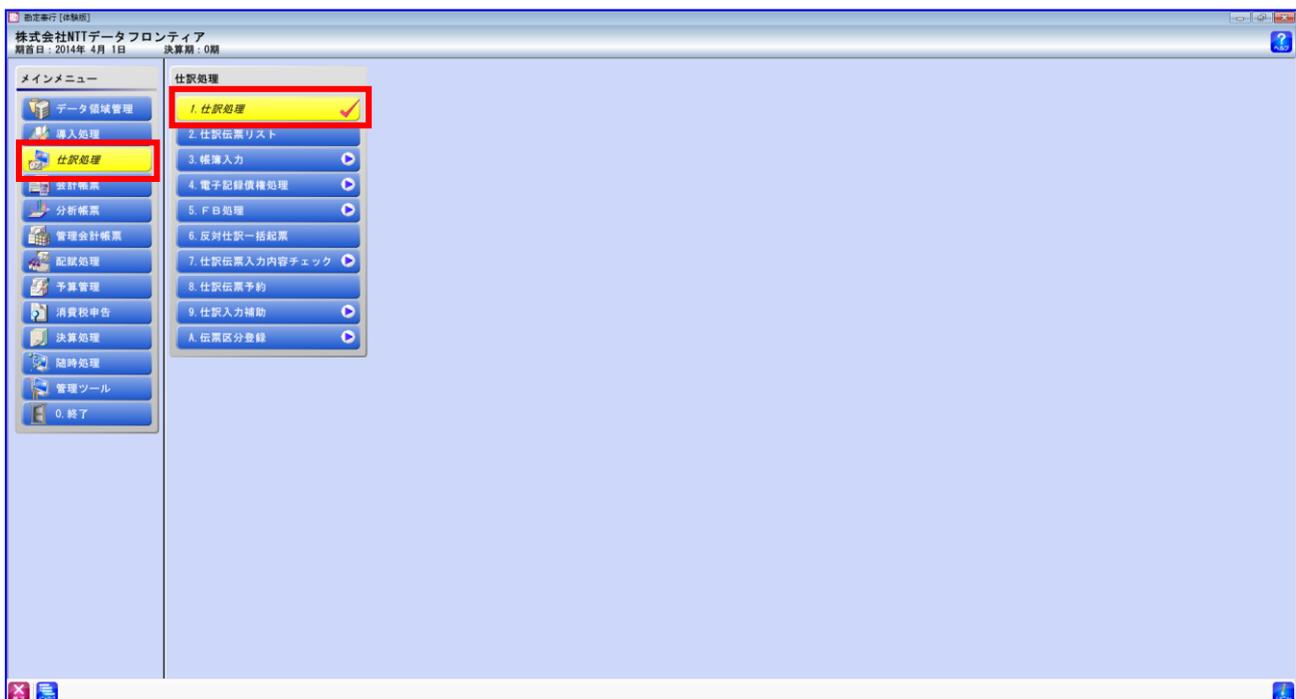
「摘要」を既存の用途（メモ欄等）で使用していない場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref.No.」を仕訳処理画面の「摘要」に連携する設定を選択します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SY、連携用_勘定奉行（OBC）_BY】

「摘要」を既存の用途（メモ欄等）で使用している場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref.No.」を仕訳処理画面に連携しない設定を選択します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SN、連携用_勘定奉行（OBC）_BN】

 [仕訳処理] > [仕訳処理]を押下します。



- 仕訳処理画面の既存伝票を表示し、「摘要」を使用しているか確認します。「摘要」の使用用途を確認の上、使用フォーマットを選択ください。

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

新規 通常伝票 振替伝票
伝票日付: 14年 4月 1日 伝票No.:
伝票件数: 0
明細件数: 0

行	借方		貸方		摘要
	勘定科目 / 補助科目 取引先	金額	勘定科目 / 補助科目 取引先	金額	
1	131 電子記録債権 001 取引先A株式会社	100,000	135 売掛金 001 取引先A株式会社	100,000	REF.NO.0001
2	131 電子記録債権 002 取引先B株式会社	200,000	135 売掛金 001 取引先A株式会社	200,000	REF.NO.0002
3					
4					
5					
借方合計		300,000	貸方合計	300,000	
			貸借差額	0	

[F1] 操作説明 [F2] [F3] [F4] 定型登録 [F5] [F6] [F7] [F8] [F9] F10 中止 F11 F12 登録

2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順



操作方法

2.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証同伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

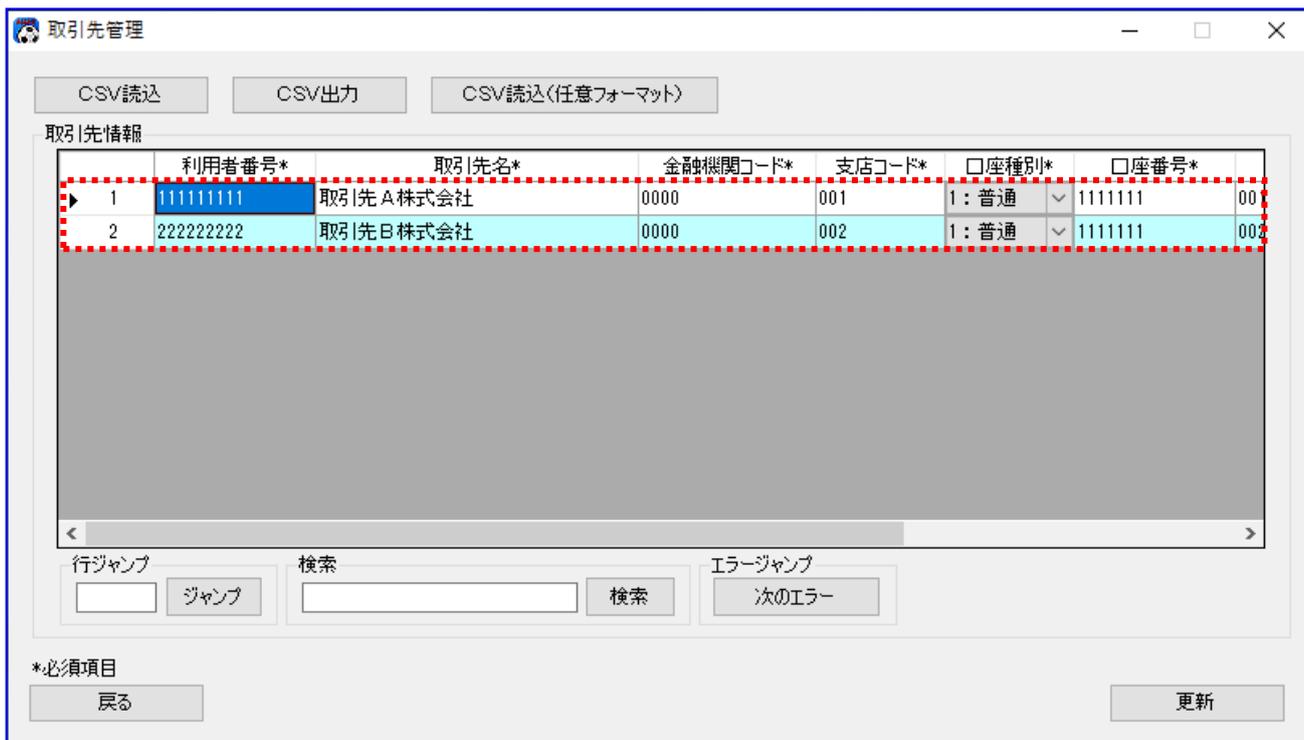
一括請求ファイル 出力しない

一括請求結果ファイル 出力しない

通知ファイル 出力しない

2.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.2 補助科目を確認する」または「2.1.3 取引先を確認する」で登録した取引先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。



	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	1111111111	取引先 A株式会社	0000	001	1:普通	11111111
2	2222222222	取引先 B株式会社	0000	002	1:普通	11111111



本ソフトの[CSV 読み込み]を用いて「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の取引先情報を読み込むことはできません。

取引先を補助科目登録画面で管理している場合の例を以下に示します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_BN、連携用_勘定奉行（OBC）_BY】

✚ 取引先 ID に補助科目のコードを登録します。

**勘定奉行
補助科目登録画面**

**一括請求Assist
(取引先管理画面)**

取引先情報	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
1	0000	001	1: 普通	1111111	001
2	0000	002	1: 普通	1111111	002



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の設定値と完全に一致させてください。

取引先を取引先登録画面で管理している場合の例を以下に示します。

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SN、連携用_勘定奉行（OBC）_SY】

- 取引先 ID に取引先登録画面のコードを登録します。

**勘定奉行
取引先登録画面**

取引先検索

検索条件

取引先名1 が 含む

無効な取引先を含める

1~3件目を表示

コード	取引先名1	取引先名2
00000001	取引先 A 株式会社	
00000002	取引先 B 株式会社	
00000000	その他	

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)

**一括請求Assist
(取引先管理画面)**

取引先管理

CSV読み込み CSV出力 CSV読み込み(任意フォーマット)

取引先情報

	全発振元コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
1	0000	001	1: 普通	1111111	00000001
2	0000	002	1: 普通	1111111	00000002

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

*必須項目

戻る 更新



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットを選択し、[保存]を押下します。選択するフォーマットは「**1.4 使用フォーマットについて**」を参照ください。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル

一括請求結果ファイル

通知ファイル

一括請求Assist標準
一括請求Assist標準
配信
連携用 勘定奉行 (OBC) _SN
連携用 勘定奉行 (OBC) _SY
連携用 勘定奉行 (OBC) _BN
連携用 勘定奉行 (OBC) _BY
連携用 商奉行 (OBC) _N
連携用 商奉行 (OBC) _Y
連携用 PCA会計 (PCA)
連携用 弥生会計 (弥生)
連携用 FXシリーズ (TKC)

2.2.4 固定値を設定する

出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」に登録されている勘定科目コードと部門コードを設定します。

本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の[修正]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時

利用者番号

ファイル出力先 参照

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

読込記録設定情報

保証連伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額読込時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 連携用_勘定奉行(OBC)_SY 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求結果ファイル 出力しない

通知ファイル 出力しない

キャンセル 保存

出力 CSV フォーマットの通知の[設定]を押下します。

出力CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名

フォーマット形式

出力形式

日付形式 YYYYMMDD YYYY/MM/DD YYYY/M/D

金額形式 カンマ有 カンマ無

更新

出力CSVフォーマット

一括請求結果 ※未設定

通知

開じる



連携用の出力 CSV フォーマットについては、「フォーマット名」の修正はできません。

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値を設定し、[保存]を押下します。
設定値については次ページ以降の通り設定します。

出力CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名: フォーマット形式:

対象ファイル: CSV項目数:

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する 設定する 設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1	1	
通知作成日 *1	2	
通知先情報_利用者番号 *1	3	
通知先情報_通知先名か *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	5	
通知先情報_金融機関名か *1	6	
通知先情報_支店コード *1	7	
通知先情報_支店名か *1	8	

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	37	
貸方勘定科目コード	38	
部門コード	39	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索 エラージャンプ

※上記サンプル画面は使用フォーマットに「連携用_勘定奉行 (OBC) _SY」を設定した場合の画面です。

- 借方勘定科目コードの固定値について
「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の勘定科目「電子記録債権」に対応するコードを設定します。

勘定奉行
(勘定科目登録画面)

勘定科目登録
株式会社MTIデータフロンティア

科目体系

- 基本科目体系
 - BS 貸借対照表
 - A1000 資産合計
 - A1100 流動資産計
 - A1300 当座資産計
 - A1200 現金及び預金計
 - A1220 現金計
 - 100 現金
 - 101 小口現金
 - A1230 預金計
 - 110 当座預金
 - 111 普通預金
 - 112 通知預金
 - 113 定期預金
 - 114 定期積金
 - 130 受取手形
 - 131 電子記録債権
 - 135 売掛金

コード 131

勘定科目名 電子記録債権

インデック タブAa操作

基本 徴税

貸借区分 0 借方

科目区分 A1300 当座資産計

使用区分 未使用

一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1	1	
通知作成日 *1	2	
通知先情報_利用者番号 *1	3	
通知先情報_通知先名が *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	5	
通知先情報_金融機関名が *1	6	
通知先情報_支店コード *1	7	
通知先情報_支店名が *1	8	

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	37	131
貸方勘定科目コード	38	
部門コード	39	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

37

- 貸方勘定科目コードの固定値について
「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の勘定科目「売掛金」に対応するコードを設定します。

勘定奉行
(勘定科目登録画面)

勘定科目登録
株式会社NTTデータフロンティア

科目体系

- 基本科目体系
 - BS 貸借対照表
 - A1000 資産合計
 - A1100 流動資産計
 - A1300 当座資産計
 - A1200 現金及び預金計
 - 100 現金
 - 101 小口現金
 - A1230 預金計
 - 110 当座預金
 - 111 普通預金
 - 112 通知預金
 - 113 定期預金
 - 114 定期積金
 - 130 受取手形
 - 131 電子記録債権
 - 135 売掛金
 - 145 有価証券

情報

コード 135

勘定科目 売掛金

インデックス 売掛金

基本 消費税

貸借 0 借方

科目 A1300 当座資産計

使用 参照にする

一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1	1	
通知作成日 *1	2	
通知先情報_利用者番号 *1	3	
通知先情報_通知先名 *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	5	
通知先情報_金融機関名 *1	6	
通知先情報_支店コード *1	7	
通知先情報_支店名 *1	8	

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	37	131
貸方勘定科目コード	38	135
部門コード	39	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

38

✚ 部門コードの固定値について

「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の「部門」に対応するコードを設定します。

「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」で部門を未使用の場合は、本固定値の設定は「0」を設定してください。

勘定奉行 (部門登録画面)

部門登録
株式会社NTTデータフロンティア

コード	部門名	インデックス	有
001	東京支店	001	
002	大阪支店	002	
000	その他	000	

一括請求Assist (出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	値
作成対象区分 *1	1	
通知作成日 *1	2	
通知先情報_利用者番号 *1	3	
通知先情報_通知先名か *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	5	
通知先情報_金融機関名か *1	6	
通知先情報_支店コード *1	7	
通知先情報_支店名か *1	8	

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	値
借方勘定科目コード	37	131
貸方勘定科目コード	38	135
部門コード	39	001

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



本ソフトで設定する「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」との連携用の「部門コード」は1種類になります。複数の部門を使い分けて利用する場合は、連携後の「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の仕訳処理画面で修正するか、連携の都度、本手順にて固定値を修正してください。

(仕訳処理画面での部門の修正方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

【参考】固定値の属性と桁数について

出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値について、各項目は半角／全角で設定可能ですが、下記以外の属性と桁数で入力した場合、債権情報 CSV ファイル作成時にエラーが発生します。

No	固定値の項目名	属性	桁数	必須／任意	備考
1	借方勘定科目コード	全角／半角	4	必須	
2	貸方勘定科目コード	全角／半角	4	必須	
3	部門コード	全角／半角	4	必須	

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
1	CSV 項目数	39
2	利用者 ID の自動設定有無	
3	利用者 ID の自動設定有無 (通知先情報)	自動設定しない
4	利用者 ID の自動設定有無 (義務者情報、権利者情報)	自動設定する
5	タイトル行有無	
6	タイトル行有無	設定しない
7	出力 CSV 項目設定	
8	データレコード項目	
9	作成対象区分	1
10	通知作成日	2
11	通知先情報_利用者番号	3
12	通知先情報_通知先名か	4
13	通知先情報_金融機関コード	5
14	通知先情報_金融機関名か	6
15	通知先情報_支店コード	7
16	通知先情報_支店名か	8
17	通知先情報_口座種別	9
18	通知先情報_口座番号	10
19	通知先情報_利用者 ID	-
20	合計件数 (件)	11
21	合計金額 (円)	12
22	データレコード区分	13
23	義務者情報_義務者名	14
24	義務者情報_金融機関コード	15
25	義務者情報_金融機関名か	16
26	義務者情報_支店コード	17
27	義務者情報_支店名か	18
28	義務者情報_口座種別	19
29	義務者情報_口座番号	20
30	義務者情報_利用者 ID	35
31	権利者情報_権利者名	21
32	権利者情報_金融機関コード	22

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
33	権利者情報_金融機関名か	23
34	権利者情報_支店コード	24
35	権利者情報_支店名か	25
36	権利者情報_口座種別	26
37	権利者情報_口座番号	27
38	権利者情報_利用者 ID	36
39	債権金額 (円)	28
40	支払期日	29
41	譲渡制限有無	30
42	記録番号	31
43	依頼人 Ref. No.	32
44	電子記録年月日	33
45	取消区分	34
46	データレコード項目 (任意項目)	
47	借方勘定科目コード	37 (固定値: 空)
48	貸方勘定科目コード	38 (固定値: 空)
49	部門コード	39 (固定値: 空)

【参考】出力 CSV ファイルフォーマット

No	項目名	受入記号 (※1)	出力内容 (※2)	備考
1	伝票区切	OBCD001	固定値：*	
2	伝票区分コード	CSJS001	半角スペース 2 桁	
3	用途区分	CSJS002	半角スペース 2 桁	
4	部門指定方法	CSJS003	半角スペース 1 桁	
5	伝票部門コード	CSJS004	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
6	日付	CSJS005	通知ファイル. 電子記録年月日	
7	整理区分	CSJS006	半角スペース 1 桁	
8	伝票 No.	CSJS007	半角スペース 6 桁	
9	伝票入力形式	CSJS009	半角スペース 1 桁	
10	借方情報			
11	部門コード	CSJS200	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
12	勘定科目コード	CSJS201	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
13	補助科目コード	CSJS202	① 固定値：0 ② 通知ファイル. 義務者情報の口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定	① 連携用_勘定奉行 (OBC) _SN 利用時 連携用_勘定奉行 (OBC) _SY 利用時 ② 連携用_勘定奉行 (OBC) _BN 利用時 連携用_勘定奉行 (OBC) _BY 利用時
14	税区分コード	CSJS203	半角スペース 4 桁	
15	税率区分コード	CSJS204	半角スペース 4 桁	
16	事業区分コード	CSJS205	半角スペース 4 桁	
17	消費税計算	CSJS206	半角スペース 1 桁	
18	端数処理	CSJS207	半角スペース 1 桁	
19	取引先コード	CSJS208	① 通知ファイル. 義務者情報の口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定 ② 固定値：0	① 連携用_勘定奉行 (OBC) _SN 利用時 連携用_勘定奉行 (OBC) _SY 利用時 ② 連携用_勘定奉行 (OBC) _BN 利用時 連携用_勘定奉行 (OBC) _BY 利用時
20	本体金額	CSJS213	通知ファイル. 債権金額	
21	消費税額	CSJS214	半角スペース 13 桁	
22	外貨コード	CSJS216	半角スペース 1 桁	
23	レート	CSJS217	半角スペース 1 桁	
24	外貨本体金額	CSJS218	半角スペース 14 桁	
25	外貨消費税額	CSJS219	半角スペース 14 桁	
26	貸方情報			
27	部門コード	CSJS300	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
28	勘定科目コード	CSJS301	固定値：出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	

No	項目名	受入記号 (※1)	出力内容 (※2)	備考
29	補助科目コード	CSJS302	① 固定値：0 ② 通知ファイル. 義務者情報の口座情報（金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号）に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定	① 連携用_勘定奉行 (OBC) _SN 利用時 連携用_勘定奉行 (OBC) _SY 利用時 ② 連携用_勘定奉行 (OBC) _BN 利用時 連携用_勘定奉行 (OBC) _BY 利用時
30	税区分コード	CSJS303	半角スペース 4 桁	
31	税率区分コード	CSJS304	半角スペース 4 桁	
32	事業区分コード	CSJS305	半角スペース 4 桁	
33	消費税計算	CSJS306	半角スペース 1 桁	
34	端数処理	CSJS307	半角スペース 1 桁	
35	取引先コード	CSJS308	① 通知ファイル. 義務者情報の口座情報（金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号）に一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定 ② 固定値：0	① 連携用_勘定奉行 (OBC) _SN 利用時 連携用_勘定奉行 (OBC) _SY 利用時 ② 連携用_勘定奉行 (OBC) _BN 利用時 連携用_勘定奉行 (OBC) _BY 利用時
36	本体金額	CSJS313	通知ファイル. 債権金額	
37	消費税額	CSJS314	半角スペース 13 桁	
38	外貨コード	CSJS316	半角スペース 1 桁	
39	レート	CSJS317	半角スペース 1 桁	
40	外貨本体金額	CSJS318	半角スペース 14 桁	
41	外貨消費税額	CSJS319	半角スペース 14 桁	
42	摘要など			
43	摘要	CSJS100	① 半角スペース 40 桁 ② 通知ファイル. 依頼人 Ref.No.	① 連携用_勘定奉行 (OBC) _SN 利用時 連携用_勘定奉行 (OBC) _BN 利用時 ② 連携用_勘定奉行 (OBC) _SY 利用時 連携用_勘定奉行 (OBC) _BY 利用時
44	付箋色	CSJS101	半角スペース 1 桁	
45	付箋文字	CSJS102	半角スペース 400 桁	

※1 出力 CSV ファイルの 1 行目に受入記号が出力されます。

※2 出力 CSV ファイルの 2 行目以降に出力されます。

(CSV ファイルフォーマットの詳細については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

3 連携手順

3.1 連携手順

「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

3.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」に読み込ませる債権情報 CSV ファイルを作成します。

- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択します。

通知確認

通知ファイル

作成対象 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

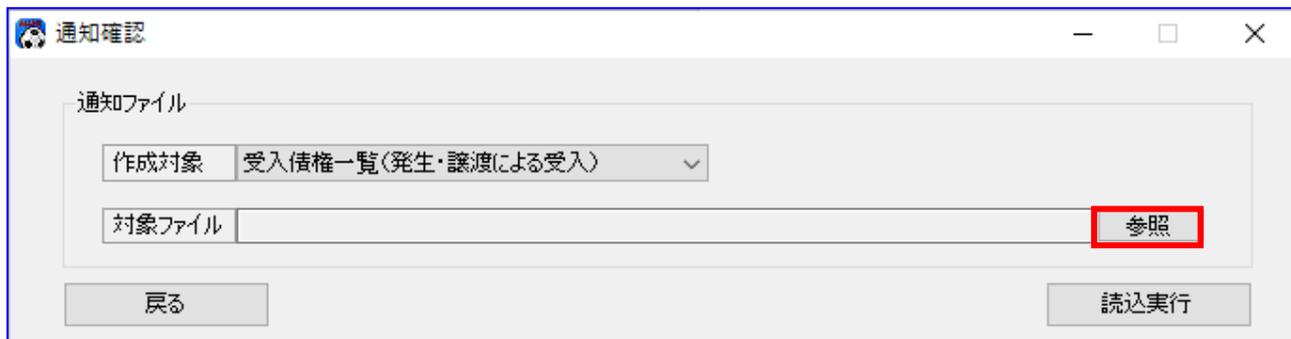
対象ファイル 参照

戻る 読み実行

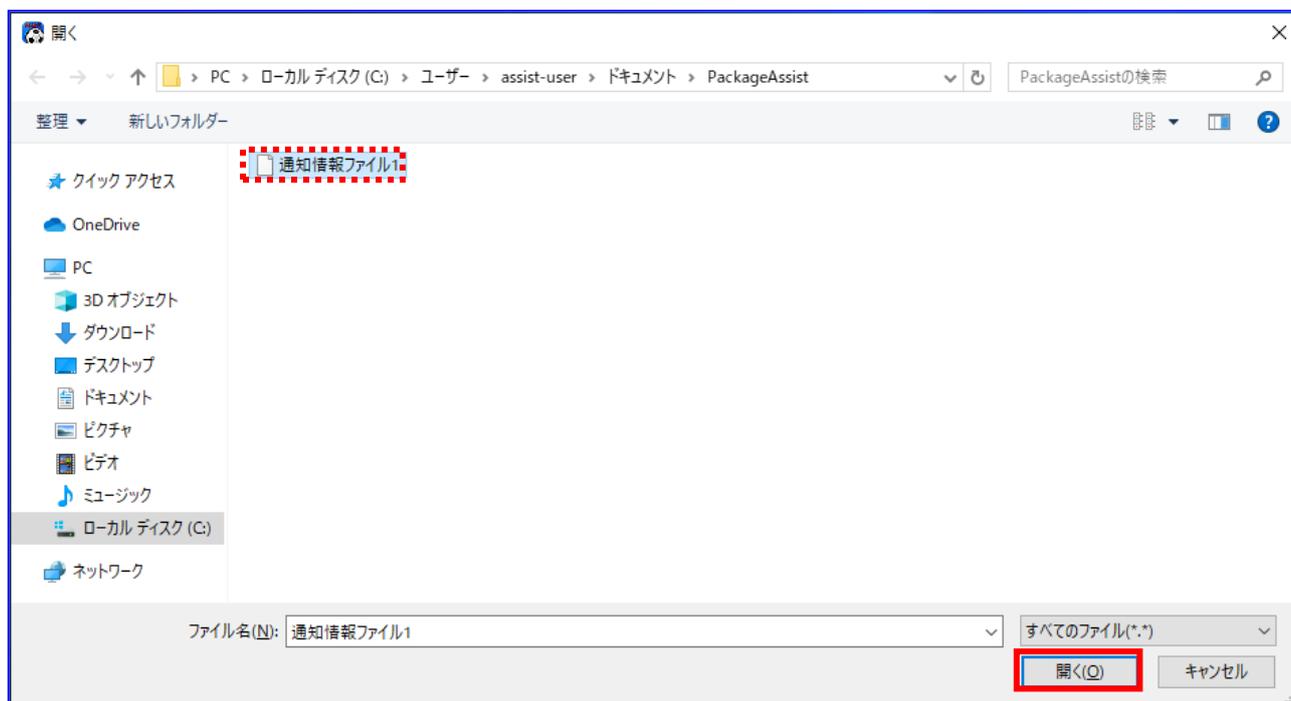


「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した場合、通知ファイルから発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。
読込んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報（通知先情報の口座情報）が設定されている債権を抽出します。

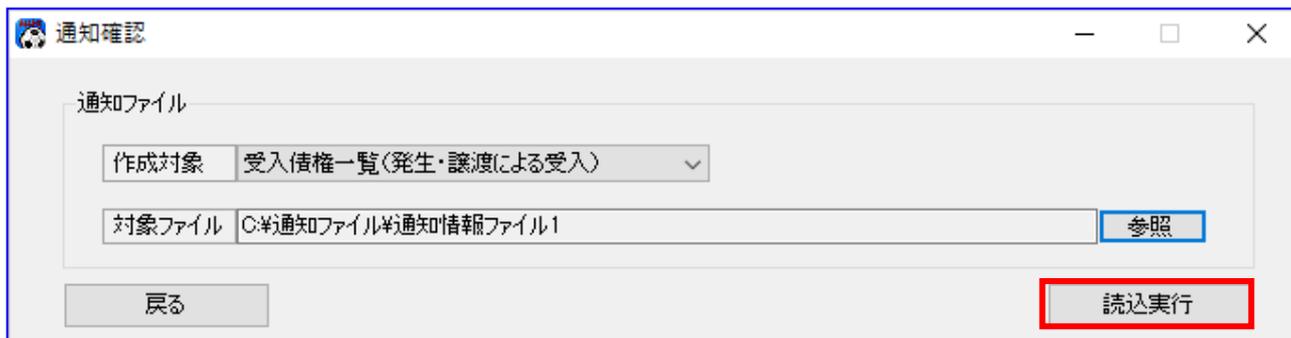
- ✚ 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます。
[参照]を押下します。



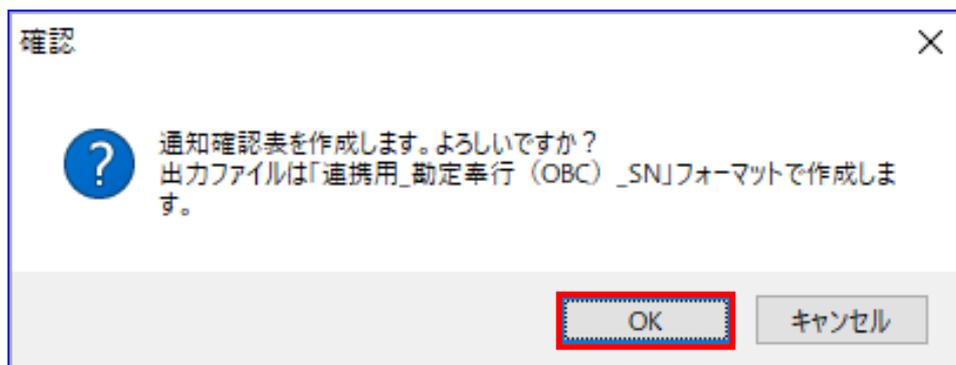
- ✚ [参照]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、確認ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。



「**2.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（上記ダイアログの例では「連携用_勘定奉行 (OBC) _SY」）が表示されます。

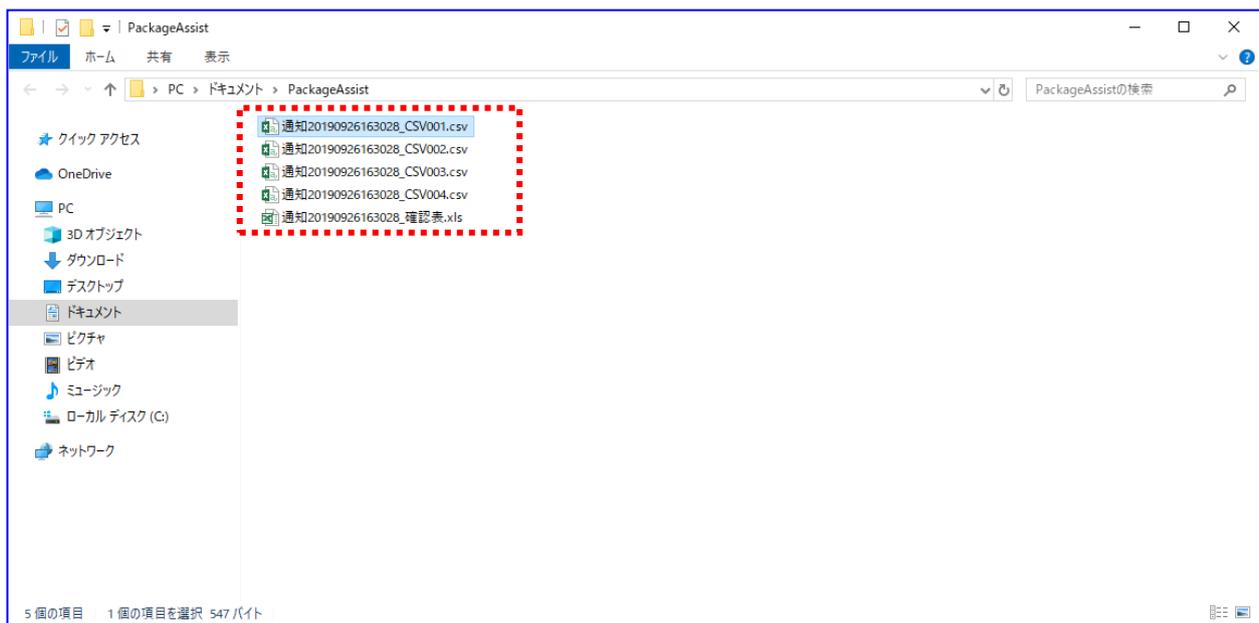


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご参照ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、確認ダイアログが表示されます。作成した通知確認表の保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されるので、通知確認表、CSV ファイルが作成されていることを確認します。



通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

通知確認表 : 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls
CSV ファイル : 通知 YYYYMMDDhhmmss_CSVxxx.csv



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）ごとに作成されます。

電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

出力ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



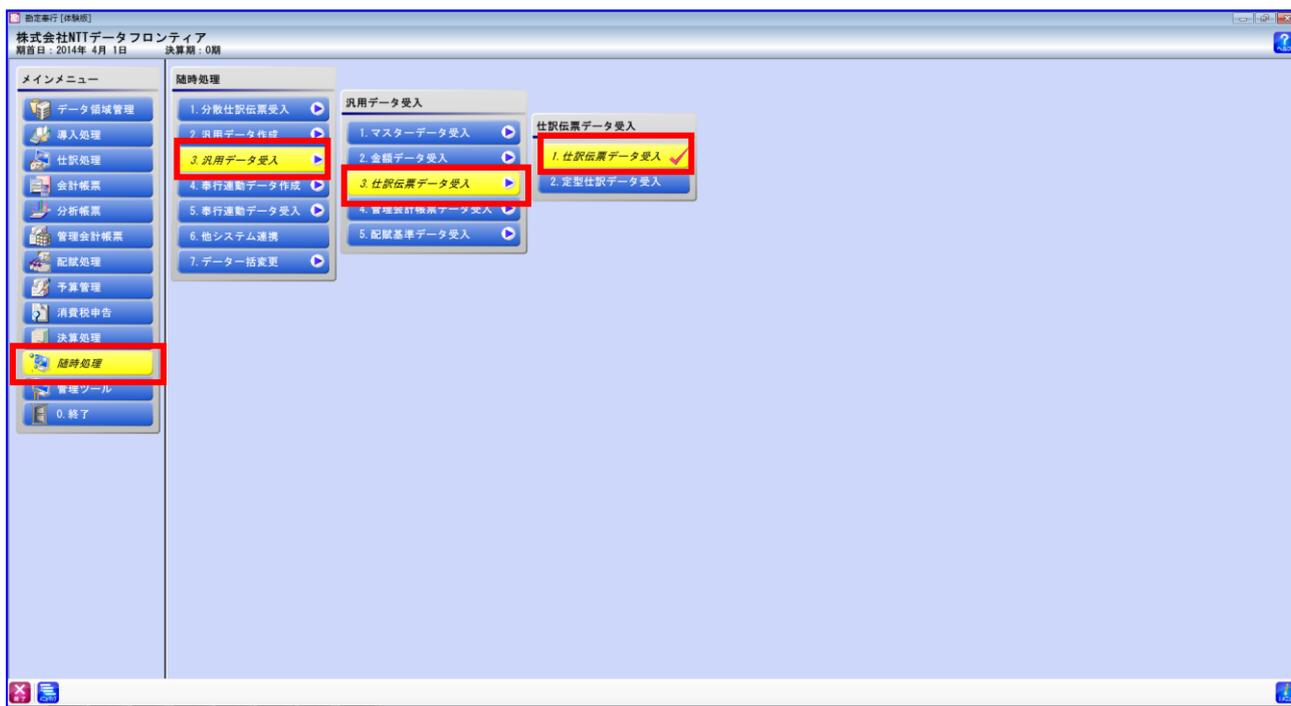
作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび出力ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび出力ファイルは出力されません。

3.1.3 仕訳伝票を作成する

「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報 CSV ファイルを「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」で読み込み、仕訳伝票を作成します。

- 「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」を開き、[随時処理]>[汎用データ受入]>[仕訳伝票データ受入]>[仕訳伝票データ受入]を押下します。



『税率5%の経過措置の取引伝票』については、本連携手順にて債権情報 CSV ファイルを読み込ませないようご注意ください。
(経過措置の取引伝票を利用する場合には、「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

✚ [新規]を押下します。

パターンコード	パターン名

新しいパターンは、[新規]または[複写]ボタンで作成します。
詳細⇒[操作説明]ボタン

OK
新規(N)
複写(C)...
削除(D)
キャンセル
操作説明(H)



仕訳伝票データ受入は一度受入を実施するとパターンが作成されるため、次回受入時は[新規]を押下せず、作成されたパターンを選択して[OK]を押下します。
作成されたパターンを選択した場合は[受入元ファイル設定]の受入元ファイル名を修正して[出力開始]を押下します。

- ✚ [基本設定]のパターンコードに任意の番号を入力し、パターン名に用途がわかるように任意の名称を入力します。

仕訳伝票データ受入 - 受入条件設定

基本設定 | 受入ファイル設定 | 拡張項目 | エラー情報設定

パターンコード 0000000001 | パターン名 一括請求Assist連携用パターン

伝票No. 指定
伝票No. 設定に従う

1 伝票ずつ画面に表示しながら受け入れる

伝票No. 設定 (参考)

付番方法	月度連番
付番基準	指定なし
システム自動付番	使用する
自動付番確認	確認しない
重複チェック方法	月度単位チェック
重複時登録処理	登録不許可

受入開始(E)

キャンセル

操作説明(H)

- ✦ [受入ファイル設定]の[参照]を押下し、受入元ファイル名に「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」で作成した債権情報 CSV ファイルを選択し、[受入開始]を押下します。（受入データ形式は「OBC 受入形式」を選択）

仕訳伝票データ受入 - 受入条件設定

基本設定 受入ファイル設定 拡張項目 エラー情報設定

受入データ形式

[100] OBC受入形式 形式作成(S)...

詳細情報

区切文字 :
受入開始位置 :

受入元ファイル名

C:\Users\AssistUser\Documents\PackageAssist\通知20140611141949_CSV001.csv 参照(B)...

文字コード : Shift-JIS 変更(G)...

OBCC001,CSJS001,CSJS002,CSJS003,CSJS004,CSJS005,CSJS006,CSJS007,CSJS009,CSJS200,CSJS201,CSJS202,CSJS*, , , ,001,2014/06/11, , , ,001,131,0, , , , ,001,1000000, , , ,

[参照...] ボタンをクリックし、受け入れる汎用データのファイル名を指定します。
ファイル名を指定すると、汎用データの内容が表示されます。
注意 汎用データの内容が文字化けして表示される場合は、[変更...] ボタンをクリックし、文字コードを変更します。
詳細⇒[操作説明] ボタン

キャンセル
操作説明(H)



[基本設定]のチェックボックス「1 伝票ずつ画面に表示しながら受け入れる」をオンにして[受入開始]を押下すると、1 伝票ずつ確認しながら受け入れることができます。

- ✚ すべての債権情報 CSV データが受入済になったことを確認し、[閉じる]を押下します。

仕訳伝票データ受入 - 受入結果確認

確認内容 | 印刷設定 | プリンタ設定

汎用データ受入が終了しました。
受入結果を確認できます。

内容確認

<input checked="" type="radio"/> 受入済データ	伝票件数	1 件
	ファイルの行数	1 行
<input type="radio"/> 未受入データ	伝票件数	0 件
	ファイルの行数	0 行

未受入データになった場合は、未受入データの内容を出力し、未受入理由をご確認ください。
未受入理由を参考に、未受入データを修正し、再度受け入れてください。
詳細⇒[操作説明]ボタン

印刷(P) | プレビュー(L) | 転送(E)... | 閉じる(C) | 操作説明(H)

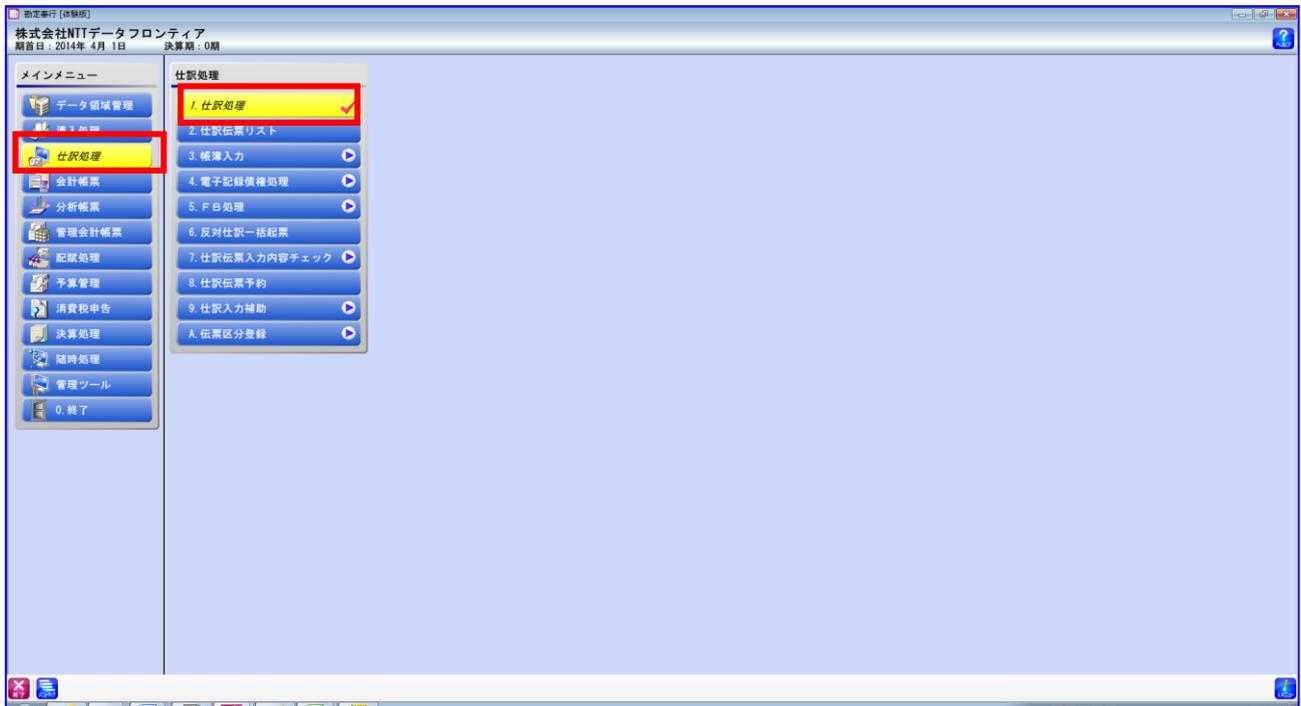


「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」にて複数の債権情報 CSV ファイルが作成された場合、本項の処理を CSV ファイル数分繰り返して受入を行ってください。



未受入データに件数が表示されている場合、[プレビュー]を押下し、エラー内容を確認してください。
また、「**2 連携事前設定**」の設定が正しく行われているか確認してください。

- 仕訳伝票の内容を確認します。
[仕訳処理]>[仕訳処理]を押下します。



- 仕訳伝票の内容を確認し、問題がある場合は本画面より修正を行います。
(仕訳処理画面での部門の修正方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SY の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票
伝票日付 14年 8月 11日 伝票No. 000017
伝票件数 4
明細件数 4

行	借方			貸方			摘要	
	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	取引先	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	取引先		
1	001 東京支店			001 東京支店			REF.NO-000001	
	131 電子記録債権	100,000		135 売掛金	100,000			
	000 その他			000 その他				
	00000001 取引先 A 株式会社			00000001 取引先 A 株式会社				
2	通知ファイルの債権情報							
3								
4								
	借方合計			100,000	貸方合計			100,000
					貸借差額			0

[F1] 操作説明 [F2] 伝票発行 [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] 反対仕訳 [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_SN の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票
伝票日付 14年 6月 11日 伝票No. 000027
伝票件数 12
明細件数 12

行	借方			貸方			摘要
	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額			
1	001 東京支店 131 電子記録債権 000 その他 00000001 取引先 A 株式会社	100,000	001 東京支店 135 売掛金 000 その他 00000001 取引先 A 株式会社	100,000			
2	通知ファイルの債権情報						
3							
4							
	借方合計	100,000	貸方合計	100,000			
			貸借差額	0			

F1 操作説明 F2 伝票発行 F3 付箋 F4 前伝票 F5 次伝票 F6 複写 F7 削除 F8 反対仕訳 F9 修正 F10 中止 F11 F12 閉じる

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_BN の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票
伝票日付 14年 6月 11日 伝票No. 000029
伝票件数 14
明細件数 14

行	借方		貸方		摘要
	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	
1	001 東京支店 131 電子記録債権 001 取引先 A 株式会社	100,000	001 東京支店 135 売掛金 001 取引先 A 株式会社	100,000	
2	通知ファイルの債権情報				
3					
4					
	借方合計	100,000	貸方合計	100,000	
			貸借差額	0	

[F1] 操作説明 [F2] 伝票発行 [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] 反対仕訳 [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

【対象の使用フォーマット：連携用_勘定奉行（OBC）_BY の場合の例】

仕訳処理
株式会社NTTデータフロンティア
会計期間：2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

参照 通常伝票 振替伝票 伝票件数 16
伝票日付 14年 6月 11日 伝票No. 000031 明細件数 16

行	借方			貸方			摘要
	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	取引先	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	取引先	
1	001 東京支店 131 電子記録債権 001 取引先 A 株式会社	100,000		001 東京支店 135 売掛金 001 取引先 A 株式会社	100,000		REF.NO.000001
2	通知ファイルの債権情報						
3							
4							
	借方合計	100,000		貸方合計	100,000		
				貸借差額	0		

F1 操作説明 F2 伝票発行 F3 付箋 F4 前伝票 F5 次伝票 F6 複写 F7 削除 F8 反対仕訳 F9 修正 F10 中止 F11 F12 閉じる



本ソフトで設定する「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」との連携用の「部門コード」は1種類になります。複数の部門を使い分けて利用する場合は、連携後の本仕訳処理画面で修正するか、連携の都度、「2.2.4 固定値を設定する」にて固定値を修正してください。
(仕訳処理画面での部門の修正方法については「勘定奉行」「勘定奉行[建設業編]」の操作説明をご参照ください。)

一括請求 Assist[®] Ver.3 操作マニュアル

連携編(勘定奉行)

2023年1月4日 第3.4版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-